

# 【業務紹介】 海事技術専門官

（日本の船と海の専門行政官）



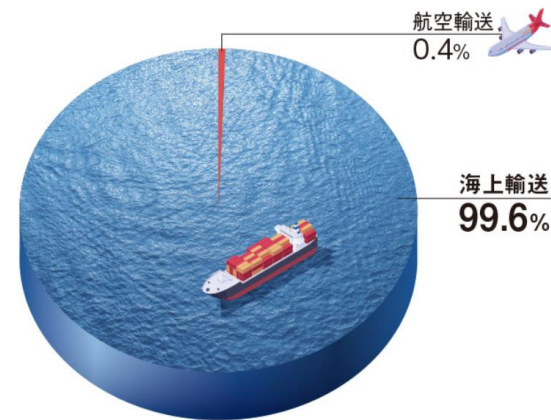
国土交通省

中部運輸局



# はじめに～船は「最重要の物流インフラ」

- 島国である日本は、生活や産業に必要な物資の多くを輸入に頼っています。その**輸入のほぼ100%が船により国際海上輸送\***されていることを、皆さんはご存じでしょうか？



\* 国内海上輸送の割合は約40%

- 例えば、船で輸入された原材料を使用した商品がなくなると、コンビニやスーパーの棚がほとんど空っぽになり、日常生活は成り立たなくなるのです。
- また、**船による大量かつ長距離の輸送**は、CO<sub>2</sub>による環境負荷が小さく、高い物流効率や省人化の観点からも、**地球と人に優しい物流モード**として期待されています。
- 我が国にとっての船は、いまとこれからの当たり前前の生活に欠かすことのできない**「最重要の物流インフラ」**です。

国交省の海事技術専門官は、100年以上の歴史を有する日本の海事技術行政の専門家



- **船舶検査官**は、我が国の船舶の安全と環境を守るための技術基準を策定し、船のハードとソフトの広範にわたり検査を行っています
- **船舶測度官**は、我が国の船舶の指標となる船の大きさを算定し財産としての登録を行うほか、船のパスポート（トン数証書）の発給も行っています
- **外国船舶監督官**は、日本に寄港した外国の船舶に対して、国際条約の技術基準への適合性や船員の資格等を確認し、適合しない場合には是正を指導しています

- 国土交通省海事局の船舶技官\*  
(技術系の公務員)です

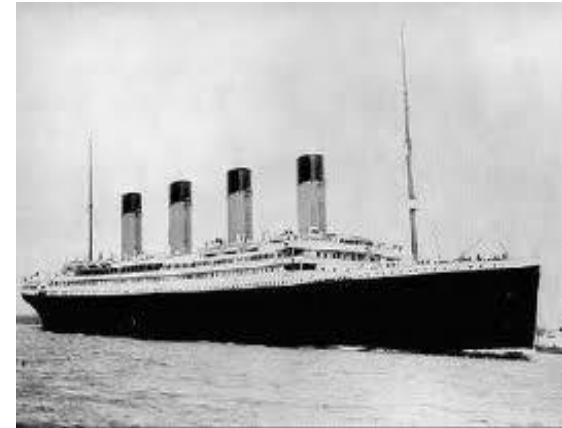
\* 国交本省採用、全国勤務

- 技術基準(法律、省令など)に  
基づいて船舶の**検査**を行います



我が国の**船舶の安全確保**や**海洋と  
大気環境の汚染防止**に務めています

1912年4月14日夜半、英国サザンプトンから米国ニューヨークへ処女航海中であつた当時世界最大級の旅客船“タイタニック号（総トン数46,328トン）”が北大西洋ニューファウンドランド沖で流氷と衝突し、船体に破口を生じ浸水、沈没。  
2200人を超える乗船者中約1500人が犠牲になった。



## — 事故原因（諸説有） —

- 救命艇の収容人数が最大搭載人員の約半数分しかなかった
- 船体の構造上の問題
- タイタニック号が発した発火信号の意味を他船が理解できなかった
- タイタニック号からのSOS無線信号を他船が気付くのが遅れた



➤ この海難事故を契機に、船舶の安全を守るための国際条約（1914年のSOLAS条約）が策定された。

# なぜ船舶検査官になりたいと思った？

- ① 船を見るのが好き
- ② いろいろな種類の船に関わりたい
- ③ 一つの業務に縛られず、様々なことに挑戦したい



- 様々な種類の船(旅客船、漁船、巡視船など)を検査します
- 船体、エンジン、プロペラなど、様々な設備を検査します
- 本省勤務や他の機関(海上保安庁、外務省など)への出向など、さまざまな業務に携わる機会があります



三菱重エマリタイムシステムズHPより



「飛鳥Ⅲ」

# 船舶検査官の一日@清水庁舎

- 就業時間 8:30~17:15(昼休憩12:00~13:00) ※支局の場合
- 午前は造船所等で検査、午後は庁舎内で事務処理等を行う日が多いです

オーケストラサークルの練習



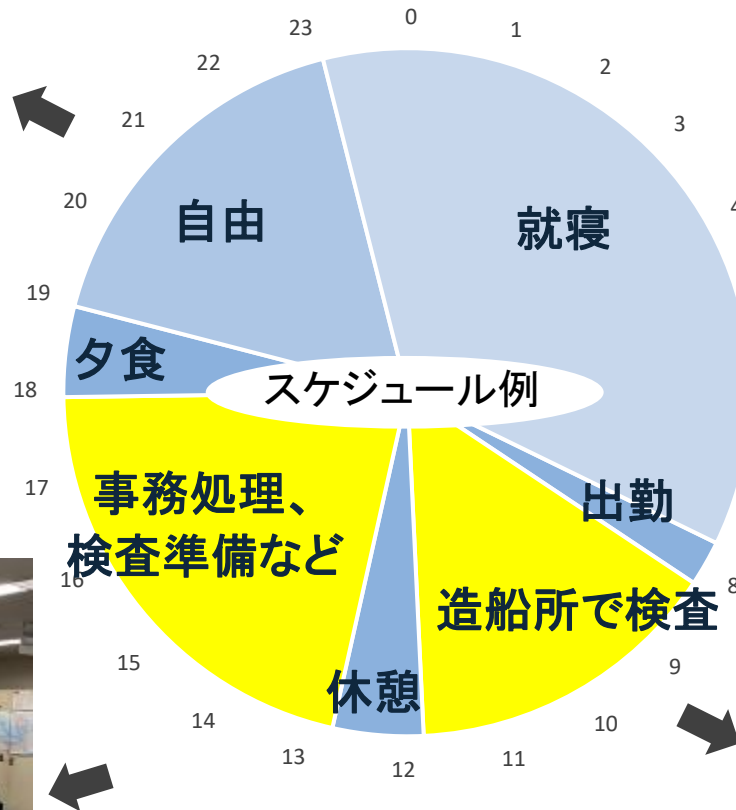
造船所の様子



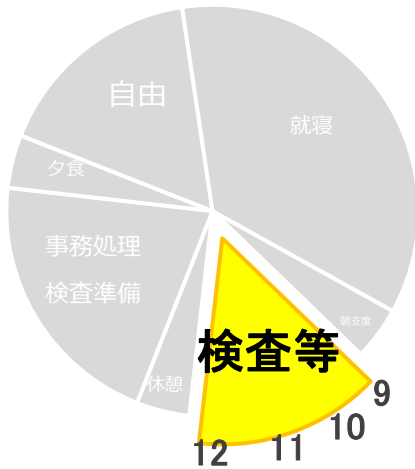
清水庁舎の執務室



海上運転の様子



# 造船所での検査～船体～



- 造船所へ出向き、船の検査を行います
- 当初は先輩検査官と一緒に検査に行きますが、今では一人で行くことが多いです



**船底外板の検査**  
(大きな傷やへこみがないかなどをチェック)

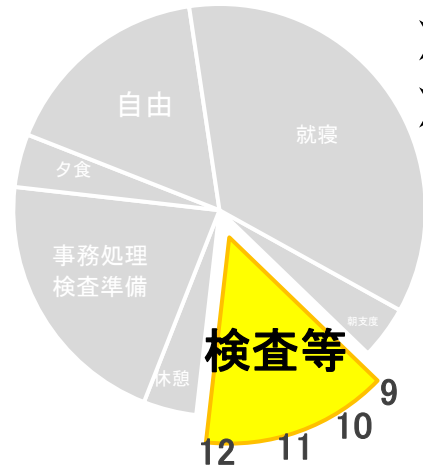
**船体内部の検査**  
(溶接に異常がないかなどをチェック)



- 暑い場所や狭い場所、高い場所での作業もあるため、安全第一で検査を行います
- 大きな船の検査には、とてもやりがいを感じます

# 造船所での検査～設備・機関～

- 船にはたくさんの設備や機関が搭載されています
- 設備ごとにルールがあるので、一つずつ勉強しています



**救命・消防設備の  
チェック**



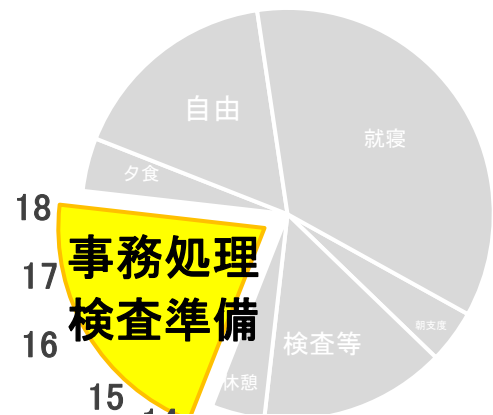
**エンジンのパーツに  
割れ等の異常が無い  
か確認します**

**造船所の意見も聞  
きながら交換部品を  
決定します**



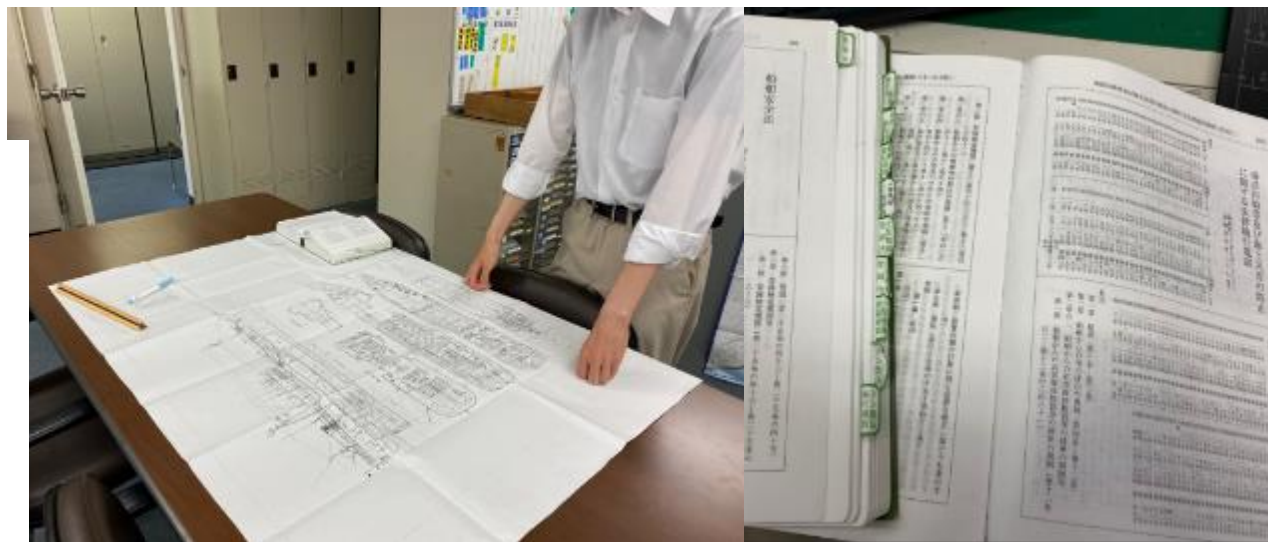
# 庁舎内での事務処理

- 午後は、庁舎内で事務処理などを行うことが多いです（図面審査や打ち合わせ、翌日の検査準備など）
- 事務処理は、検査事務担当者と協力して行います



船舶検査証書

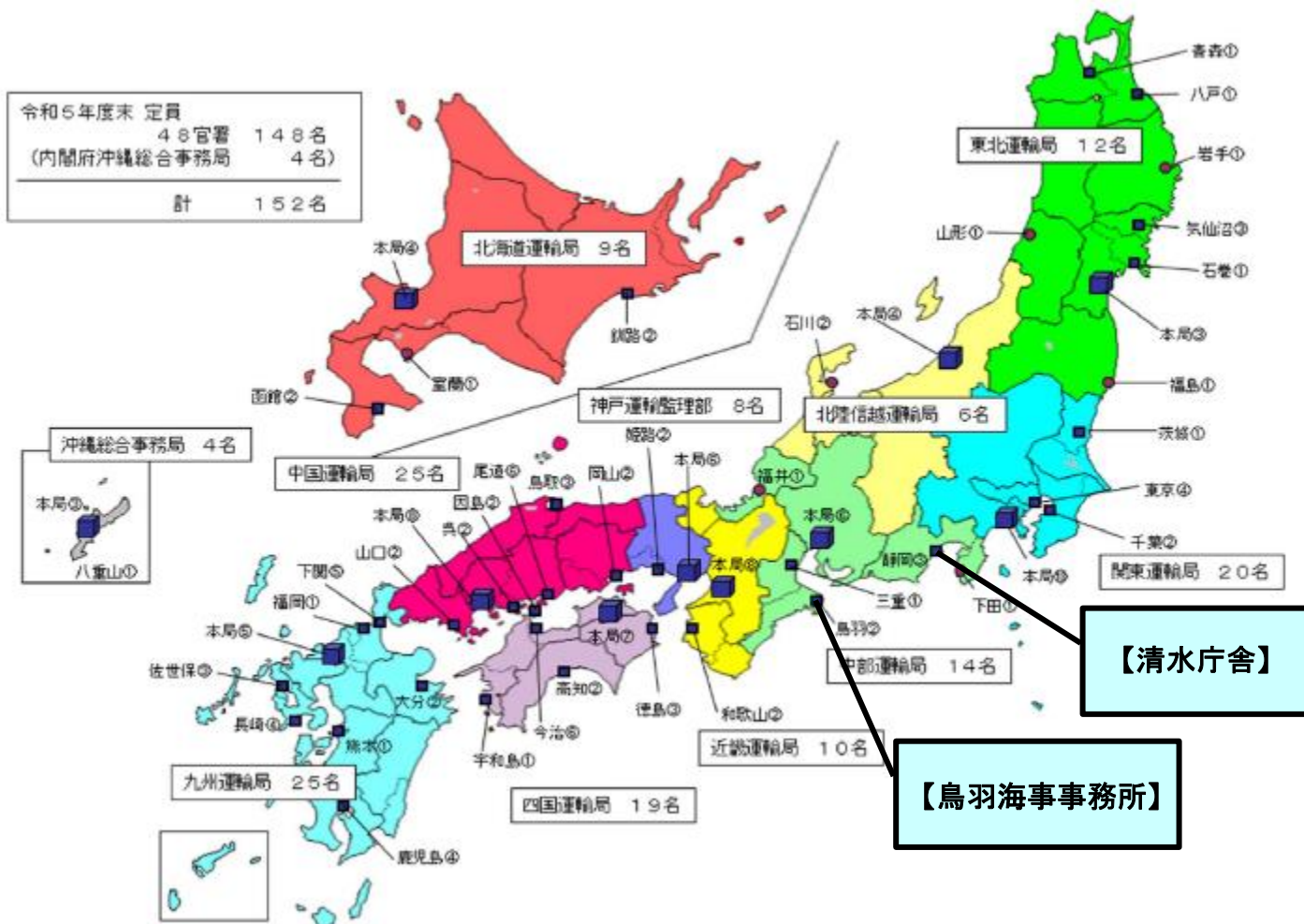
船名及び船名	西船 長崎丸
船舶番号、船舶検査済書の番号又は船舶登録番号	144534
船籍国又は定着港	三重県鳥羽市
船主又は船舶の長さ	387トン
用途	検査船
船主住所	徳立行政法人 徳立高等専門学院船務科
有効期限	令和7年3月7日 まで
船舶安全法第9条第1項の規定により交付する。 令和7年3月7日 中国運輸局岡山運輸支局長 今岡 俊之	
航行上の条件	
航行区域又は営業区域 (本航路船に適用するものは、本航路にあっては、その航路)	近海区域 (1)本航路(瀬田を含む。)であって、北緯45度54分58秒東経141度29分46秒の地点、北緯45度24分50秒東経144度54分41秒の地点、北緯44度38分52秒東経147度2分58秒の地点、北緯43度12分17秒東経148度28分46秒の地点、北緯42度29分29秒東経148度27分44秒の地点、北緯39度50分52秒東経148度27分59秒の地点、北緯27度48分49秒東経149度28分45秒の地点、北緯25度21分49秒東経147度2分10秒の地点、北緯23度25分39秒東経146度2分42秒の地点、北緯21度34分26秒東経143度58分47秒の地点、北緯20度3分52秒東経146度6分51秒の地点、北緯18度9分東経147度47分19秒の地点、北緯16度42分47秒東経148度19分48秒の地点、北緯15度27分49秒東経154度1分43秒の地点、北緯13度3分51秒東経150度3分44秒の地点、北緯12度37分50秒東経149度19分49秒の地点、北緯11度31分20秒東経147度58分20秒の地点、北緯10度28分59秒東経148度8分12秒の地点、北緯10度28分59秒東経148度42分44秒の地点、北緯11度27分7秒東経141度23分54秒の地点、北緯11度1分58秒東経146度2分12秒の地点、北緯10度17分32秒東経136度30分48秒の地点、北緯9度2分50秒東経137度55分52秒の地点、北緯7度19分24秒東経138度16分29秒の地点、北緯5度39分59秒東経133度57分47秒の地点、北緯3度39分59秒東経130度25分47秒の地点、北緯1度47分50秒東経133度18分51秒の地点、北緯1度24分58秒東経130度
**** 以下省略 ****	



ルール(船舶六法など)を確認しながら図面審査を行います

船が持たなければならない書類(検査証書や検査手帳など)の作成を行います

# 海事技術専門官のキャリアプラン①



- 勤務先は、海に面したほぼ全ての都道府県にある地方運輸局本局、各県支局と事務所のほか、国交本省（東京・霞が関）
- 転勤頻度は、概ね2～3年前後が目安（家庭の事情などにより、勤務地域についてはある程度の配慮可能）

# 海事技術専門官のキャリアプラン②

## 海外検査

船舶検査官としての経験を積んで海外建造の大型クルーズ客船（日本籍）などの製造検査を行うことができます

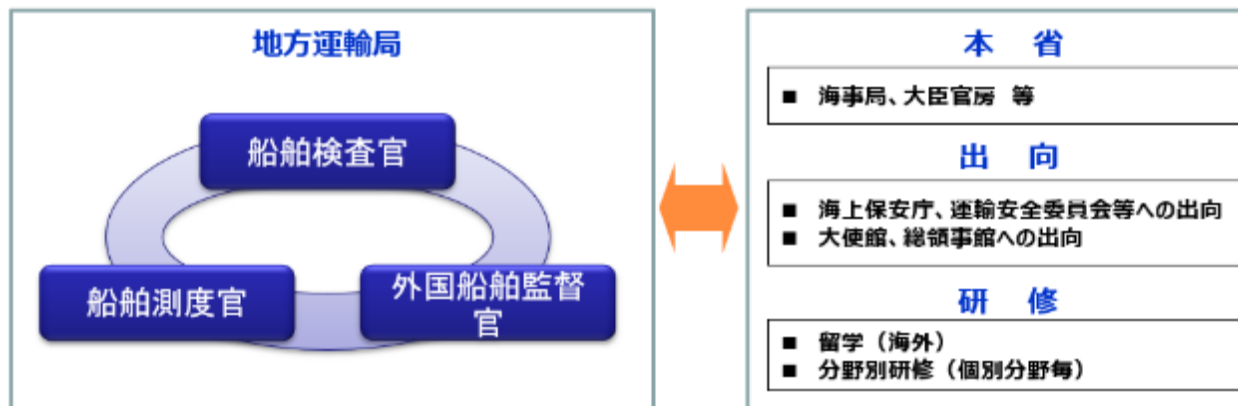


「飛鳥Ⅲ」  
(郵船クルーズ株式会社)

## 他の行政機関での船舶業務

他の省庁や行政機関へ出向し、船舶業務に携わる機会があります

海上保安庁(巡視船艇の計画工務)、外務省(在外公館での勤務)、JRTT鉄道・運輸機構(船主への技術支援)など



# 採用後の業務サポート

「採用されたけれどわからないことばかり、業務についていけるか不安だ・・・💧」

## 機関解放研修



## 航海用具研修



## オンライン研修



## 研修

## 入省から安心の研修制度

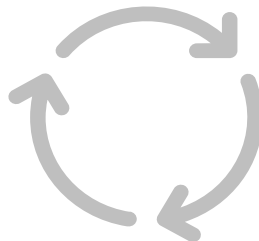


- 研修を通して専門官として必要な知識を広く学ぶ
- 若手向けオンライン研修が定期開催
- 上司と一緒に現場同伴、アドバイス

## 造船所での研修



## 周囲のサポート、OJT等





業務紹介

### 1 船舶検査の流れ（新造船の場合）

新造船の検査は、船ははたのり下り船にわたります。

- 申請・申請許可の受付**  
船主や船主代理店が検査申請書を提出し、検査料を納入し、検査の予約を行います。
- 設計検査**  
船主が提出した設計図面を、検査官が確認し、適合性を確認します。
- 予備検査**  
船主が提出した設計図面を、検査官が確認し、適合性を確認します。
- 造船現場での検査**  
造船現場に派遣された検査官が、造船工程に従って検査を行います。
- 竣工検査**  
造船工程が完了した船舶に対して、検査官が最終的な検査を行います。



業務紹介

## 01 海事技術専門官（船舶検査官）の業務

**船舶検査官の業務とは**  
船舶検査官は、100年以上の伝統を有する我が国でも有数の歴史ある職業です。全国に配置されている船舶検査官は、日本の船舶の検査業務を通して、我が国の船舶の安全・保安の確保や海洋・大気環境の保全等を行っています。  
船舶は海上という極めて厳しい自然条件の中で安全に航行するために、様々な設備を搭載し、構造に工夫が凝らされています。また、船舶の用途によって大きさや構造が大きく異なります。このため、船舶検査官には幅広い知識と豊富な経験、技術者としての深い洞察力と判断力が要求されます。そのほかにも、次のような業務があります。

## 02 海事技術専門官（船舶測度官）の業務

### 1 測度数の算定（海軍制度における指標）

船舶の性能を測る指標として、測度数を算定し、船舶の性能を評価します。

### 2 測度トン数証書（船舶のパスポート）の作成

船舶の性能を測る指標として、測度数を算定し、船舶の性能を評価します。

### 3 立入検査

船舶の性能を測る指標として、測度数を算定し、船舶の性能を評価します。

### 4 行政相談

船舶の性能を測る指標として、測度数を算定し、船舶の性能を評価します。



業務紹介

### 1 PSC（ポートステートコントロール）とは

船舶の安全・保安を確保するための国際的な検査制度です。

### 2 PSCの検査内容・是正手続き

検査官が船舶を検査し、問題があれば是正措置を行います。


- 1PSC検査
- 2検査官の検査
- 3検査官の検査
- 4検査官の検査
- 5検査官の検査
- 6検査官の検査


## 03 海事技術専門官（外国船舶監督官）の業務

**外国船舶監督官(PSC官)の業務とは**  
我が国に入港した外国船舶に対して、海上における人命の安全の確保等の観点から、船舶の構造設備、航行設備等に符合する状態及び乗組員の資格要件等について国際的に適合しているか検査（ポートステートコントロール:PSC）を行います。

➤ 詳しくは➡



海事技術行政 



Q. 給与には満足していますか？

国家公務員なので、性別による格差がなく、年齢に応じて着実に給与が上がるので、お金の面で不安を感じることはありません。

Q. 福利厚生はどうですか？

国の機関として、ワークライフバランスの充実に積極的に取り組んでおり、休暇(有給年間20日間、特別休暇)や諸手当(通勤手当、住居手当)の充実のほか、仕事と育児介護の両立支援制度もあります。

諸手当の概要(人事院HPより)→



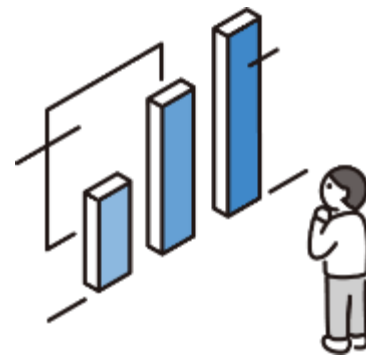
Q. 必要な資格などはありますか？

特に求められる資格等はありませんが、英語はある程度できると取りかかりやすい業務もあります。配属先によっては検査するところが遠い場合があるため、運転免許証も持っている则便利です。

Q. 休暇はとりやすいですか？

とりやすいと思います。時間休の制度を使って、出勤時間がある程度調整することもできます。

また状況によっては、テレワークで業務を行うこともできます。



# 最後に皆さんへ

「海事技術専門官」という職業、皆さんは初めて聞いたかもしれませんが、**我が国の船に関する専門家**として様々な体験ができる仕事です！

もちろん大変なこともあります、その分とても面白くやりがいがあります！皆さんも採用試験に挑戦してみませんか！

